

第 27 回東京大学工学部・工学系研究科技術発表会報告

実行委員長 中村 光弘（マテリアル工学専攻）

第 27 回東京大学工学部・工学系研究科技術発表会を 9 月 21 日（金）に開催しました。副学長、前工学系研究科長・工学部長 北森武彦先生の特別講演「化学やバイオをチップに集積すると」をはじめ、口頭発表が 15 件、ポスター発表・作品展示で 11 件の発表が行われ、93 名（工学系研究科技術職員 59 名、情報理工技術職員 4 名、学内者 28 名、学外者 2 名）の方々にご参加いただき、活発な質疑が行われ、有意義な発表会となりました。今年からは「駒場キャンパス技術発表会」との交流発表が始まり生産技術研究所から口頭発表 2 件がありました。大変好評で技術発表会のアンケートでは是非とも今後とも続けて欲しいとの意見等が多数寄せられました。また、今回から計測・制御グループのご協力により口頭発表用計時システムが導入され、発表時間がよりプログラムにそったスムーズな運営ができました。

発表された方々から選考を行い、研究科長賞を応用化学専攻・坂下 春氏、システム創成学専攻・細野米市氏「千葉県東葛飾地区の土壌中の放射性セシウムの分布について《サンプリング方法、除染方法の提案》」が授賞しました。又、技術部長賞はシステム創成学専攻・鈴木 誠氏、「グラフィック型言語 LabVIEW による個液共存系成長過程の画像集録と処理」が授賞しました。ポスター賞は（特集・専門技術グループ）「フライス盤による四角錐台製作法「技術の創意工夫」～それってどう作るの～（そのⅠ）航空宇宙工学専攻・内海正文、航空宇宙工学専攻・横田明、機械工学専攻・石川明克、マテリアル工学専攻・杉田洋一氏が授賞しました。

研究科長賞・技術部長賞の専攻方法は小関技術部長の他依属した 5 名の専攻委員により、技術報告の原稿、当日の発表をもとに行われました。ポスター賞は学内外の参加者に採点して頂き投票によって選出しました。又、報告集「技術報告」では「口頭発表原稿」、「ポスター発表原稿」、「作品展示発表原稿」、「原稿発表のみ」も含め 51 件の発表を頂きました。発表申込者の皆様に感謝致します。

閉会後の挨拶では小関技術部長より技術職員への更なる期待をこめた「技術は日々進歩しており、日々技術を取り入れて行くこと。新しい技術を修得し時代の動きに合わせてネットワークを持って動いてほしい」との温かいメッセージをいただきました。教員、事務部の皆様のご理解やご支援、技術職員のご協力によって、無事技術発表会を開催できましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

最後に病気で職務を一時離れ、多くの皆様にご迷惑等をおかけしてしまいました。その様な委員長を支えて下さりました、実行委員会の皆様に心から御礼申し上げます、有難うございました。